



誠・力・光

平成30年12月4日

練馬区立北町中学校

学校だより 12月号

選択肢を知る、己の適正を知る、そして夢を叶える

副校長 岩本 眞由美

現代社会は、多様化の時代と言われています。20年前、30年前に比べれば、様々な進路選択があります。たとえば、就職。20年前、30年前と比べれば、仕事の種類も多岐にわたります。当時は、パソコンも一般的なものでなく、携帯電話もない時代です。IT産業等はほとんどない時代です。これから先も、ノーベル賞受賞のiPS細胞に関わる産業など、みなさんが社会に巣立つ頃には新たな産業がたくさん生まれているでしょう。

上級学校の進路選択も多岐にわたってきました。都立高校を例にあげれば、全日制課程、定時制課程の他にも昼夜間定時制という課程の学校が設置されました。また一般的な学年制の他にも、大学同様の単位制というシステムを取り入れている学校もあります。違いがわかるでしょうか。

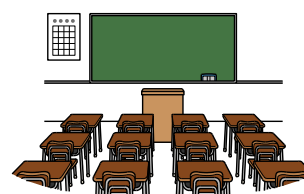
設置されている学科も多岐にわたります。普通科、工業科、商業科、農業科といえ、みなさんも学ぶ内容をイメージしやすいと思います。その他にも、最近では、総合学科や国際科、科学技術科、産業科、ビジネスコミュニケーション科、あるいは実際に企業で長期にわたって職業訓練を行うデュアルシステム科などの学科もうまれ、選択の幅が広がっています。さらに学科の内容を見ていくと、普通科の中にも専門的なことを学ぶコース制を採用している学校もあります。商業科でも一般的な商業科の他に総合ビジネス科、情報処理科などの学科を設置している学校もあります。社会の多様化に対応し、高校も学ぶ内容に応じてそれぞれの学科の中に、さらに様々な科を設置していることがわかると思います。また、中高一貫校やチャレンジスクール、エンカレッジスクールなど学校の特色に応じて、独自の教育方針で教育を行っている学校もあります。

さあ、みなさんは、ここに取り上げた様々な都立高校についてどのくらい知っているでしょうか。

多様化するということがありがたいことだと思います。でもそれは、早い段階で自分の進路について考えていかないと、より専門的な分野に分かれた多様な高校から自分に合った高校を探さねばならないということの意味しています。高校進学後の不適応を招かないためにも、早めにスタートを切ることが重要です。

進路選択の基本は、まず「知る」ということです。「希望の進路先について知る」「今何をすればいいかを知る」ことです。そして「自分を知る」ということも非常に大切です。どんな学校に自分は適しているのか、自分は何を学びたいのか、自分自身を知ってはじめて、進路を選択できるのです。

中学校卒業後の進路選択は、みなさんの人生に大きな影響を与えるでしょう。簡単に決められるものではありません。だからこそ、どんな進路選択にも対応しうる力をつけることが必要です。



晴天に恵まれた校外学習

11月29日(木) 2年生都内 11月30日(金) 1年生川越

両日とも晴天に恵まれ、汗ばむくらいでした。1年生にとっては、初めての班行動、2年生にとっては来年の修学旅行につながる校外学習となりました。しかし、どちらの学年も課題はあったかと思われまます。反省すべき所は、改善し次回へと生かし更に成長して行って欲しいと願います。

全体的には周年行事、文化祭と忙しい中で事前学習に取り組み、各学年、各班ともよく行動できていたと思ひます。事後学習も頑張りましよう。



師走



冬

12月22日(土)は、1年で最も昼の短い日「冬至」です。冬至には何をしますか？

- “かぼちゃ”を食べる …病気になるない言い伝え
- “ゆず湯”に入る …邪気払いの言い伝え
- “こんにやく”を食べる …1年のたまった砂をおろす

他に、

- “ん”のつく食品を7種類食べる、という言い伝えもあります。

“ん”の食品は、「運」がつくと言われ、なんきん(かぼちゃ)・にんじん・れんこん・きんかん・かんでん・だいこん・みかん・こんにやく・ぎんなん・ぼんかん・こんぶ…

特に、うどん(うどん)は、「運(うん)鈍(どん)根(こん)」と縁起ものです。

他国では、

- 中国では、“餃子”を食べる …大切な季節の変わり目に食べるもの
 - 韓国では、“小豆粥”を食べる …鬼を追い出す
- など、それぞれの冬至の過ごし方があるようです。

あっという間に、師走を迎えました。三者面談、通知表とまだまだ続きます。そして、その後は、待望の冬休みとなります。その間に大掃除もありますね。3年生にとっては、受験を控えた冬休みです。

少し早いですが、皆様良いお年をお迎えください。